

「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」  
北九州市 子ども・子育て支援事業計画（平成29年度実績）

資料5

平成30年3月1日現在

対象者	0歳児			1～2歳児			3～5歳児			合計						
	保育 3号			保育 3号			保育 2号			学校教育 1号						
利用する施設・事業	① 保育所 ② 地域型保育 ③ 認定こども園			① 保育所 ② 地域型保育 ③ 認定こども園			① 保育所 ③ 認定こども園			③ 認定こども園 ④ 幼稚園			学校教育・保育 ① 保育所 ② 地域型保育 ③ 認定こども園 ④ 幼稚園			
利用希望（需要） 及び 提供体制（供給）	計画（A）	実績（B）	B-A人【B/A】%	計画（A）	実績（B）	B-A人【B/A】%	計画（A）	実績（B）	B-A人【B/A】%	計画（A）	実績（B）	B-A人【B/A】%	計画（A）	実績（B）	B-A人【B/A】%	
	利用希望	3,131人	3,769人	20.4% 638人	利用希望	6,606人	6,871人	4.0% 265人	利用希望	8,806人	9,437人	7.2% 631人	利用希望	14,731人	13,584人	▲7.8% ▲1,147人
	提供体制	3,319人	2,881人	▲438人【86.8%】	提供体制	7,509人	6,589人	▲920人【87.7%】	提供体制	10,401人	9,616人	▲785人【92.5%】	提供体制	14,167人	14,357人	190人【101.3%】
差引	188人	▲888人		差引	903人	▲282人		差引	1,595人	179人		差引	▲564人	773人		

提供体制（供給） 実績 内訳	施設数	計	2,881人
	166	①保育所	2,586人
32	②地域型保育	小規模保育	202人
		家庭的保育	23人
		事業所内保育	28人
7	③認定こども園	42人	
25			
74			

計		6,589人
①保育所		5,948人
②地域型保育	小規模保育	405人
	家庭的保育	52人
	事業所内保育	50人
③認定こども園		134人

計		9,616人
①保育所		9,391人
③認定こども園		225人

計		14,357人
③認定こども園		434人
④幼稚園	新制度移行	2,520人
	従前通り	11,403人

合計		33,443人
①保育所		17,925人
②地域型保育	小規模保育	607人
	家庭的保育	75人
	事業所内保育	78人
③認定こども園		835人
④幼稚園	新制度移行	2,520人
	従前通り	11,403人

待機児童 191人

75人

18人

—

284人

施設・事業種別	対象者	学校教育・保育	設置数	
①保育所	0～5歳児	保育	166	
②地域型保育	0～2歳児	保育	小規模保育	32
			家庭的保育	15
			事業所内保育	6
③認定こども園	0～5歳児	学校教育・保育	7	
④幼稚園	3～5歳児	学校教育	新制度移行	25
			従前通り	74
計			325	

◎実績に対する評価、課題及び改善策◎

《評価》

《評価》

●利用希望について

・0歳児については、計画と実績に20.4%（638人）の差が生じているが、1～2歳児については、ほぼ計画通りとなっている。

・3～5歳児についても、ほとんど差は生じていない。（保育：7.2%、学校教育：▲7.8%）

※3～5歳児の「保育」の計画（A）の数値は、計画上の数値（12,342人）から、学校教育（幼稚園等の入園）を強く希望する家庭の子ども（3,536人）を「学校教育」に移した後の数値。

●提供体制について

・実績は、いずれの年齢区分においても、計画数値の約90%前後を充足しており、概ね目標を達成できたと考えている。

・なお不足分（保育）については、平成30年度当初、認定こども園や小規模保育事業等の新たな整備を完了し、既に733人分受け皿を拡大し受け入れを行っている。これに加え、平成30年度中には、さらに130人分を増員する予定である。（合計863人増員）

《課題及び改善策》

・国の方針によると、平成27年度の利用希望の差が10%内に収まっていれば、計画見直しの必要はないが、平成29年度は0歳児の計画と実績の差が10%以上（H28：18.4%→H29：20.4%）となっており、来年度以降の推移及び国の動向を踏まえ、今後、次期計画の策定の際に適切に対応していく。

・年間を通じた待機児童の解消のためには、施設整備という受け皿づくりだけでなく、担い手となる保育士の確保も必要である。

・そこで、潜在保育士の就職支援や、保育士の雇用の安定に資するため、処遇改善や、「北九州市保育士・保育所支援センター」の運営を引き続き実施し、年間を通じた待機児童の解消に向けた取組を進める。